

# 好生館だより

好生館

KOSEIKAN DAYORI

## 2016

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言  
.....p1

[好生館ニュース]

ISO15189:2012認定取得!! 他  
.....p2

[診療科の紹介]

呼吸器外科、精神科、  
眼科、感染制御部.....p3

看護部だより.....p4

お薬の豆知識、

知っていますか? 検査の話.....p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、  
診療支援部門だより.....p6

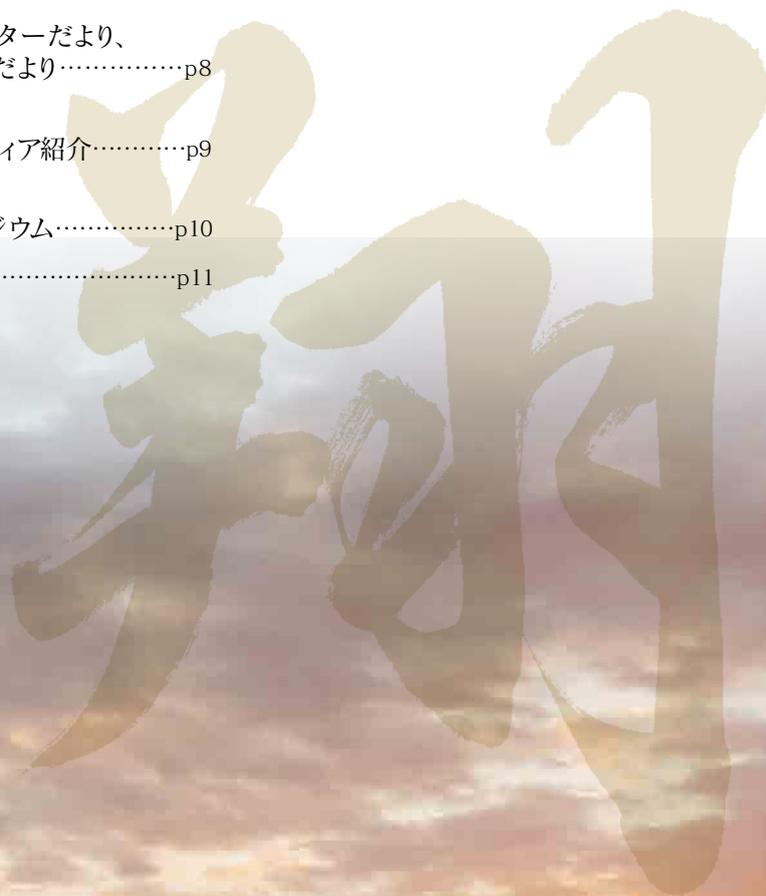
開放型病院登録医のご紹介.....p7

地域医療連携センターだより、  
相談支援センターだより.....p8

新任医師の紹介、  
緩和ケア科ボランティア紹介.....p9

歴史コーナー、  
UICC 公開シンポジウム.....p10

外来医師一覧表.....p11



好生館屋上より撮影



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長 中川原 章

## 平成28年の新年を迎えて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな平成28年の新年を迎えておられることとお慶び申し上げます。

天保5年(1834年)第10代佐賀藩主鍋島直正公により創設された「好生館」は、本年で182年目を迎えます。良き年を祈念しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今年の干支は申、日光東照宮左甚五郎作の「三猿」(見ざる云わざる聞かざる)は有名です。しかし、現在、わが国は、佐賀県を含め、人口減少と超少子高齢化が進み、厳しい現実を迎え始めています。そのような中で、将来へ向けての改革を行っている好生館としましては、その逆手を取り、「良く見、良く聞き、良い意見を言う」ことをモットーに、開かれた組織作りを行い、地域社会の医療・福祉の向上に貢献していきたいと思っております。

好生館では、一昨年より、医療連携の更なる強化に力を入れて来ました。本年も、地域医療連携センター、相談支援センター、そして広報室を一層強化し、急性期病院として佐賀県の地域包括ケア構築に積極的に参画していきます。

また、今後医師の専門医制度が大きく変わることから、好生館内部の医師及び看護師、コメディカル職員の教育・研究及び研修体制も刷新し、改革を進める予定です。このように、困難な時代を克服するため、県民と共に、好生館も変革の努力を行い、県民の健康と命をより高いレベルで守っていききたいと思います。

本年が、皆様にとって良い年となりますよう、心より祈念いたします。

## 館長から一言 榑木 等

旧年中は好生館が大変お世話になりました。本年も宜しくお願い申し上げます。

昨年来、地域包括ケアシステムの構築が全県をあげて課題となっています。病床機能報告制度と平行して進むことにはなりますが、いくつかの調査では、慢性期が多く回復期が少ない様です。理想的には台形型に近い方が良いでしょうが、診療報酬体系に不安があるのでしょうか。実際、病床機能報告制度では「病棟単位」での報告ですが、DPC医療機関、入院基本料などの診療報酬制度は「病院単位」となっており、変更することに不安があるのではと拝察します。施設の特徴に応じた病床機能を安心して申請できる診療報酬体系が望まれます。

好生館は高度急性期、急性期医療を提供することをもって県民の皆様への医療提供に資することを目指していますが、今後の動向を見守ってまいります。いずれにせよ、ますます顔の見える地域医療連携が重要となりました。

新年を迎え皆様のご健康を祈念します。好生館を今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





検査部 副臨床検査技師長  
平野 敬之

## ISO15189:2012認定取得!!

好生館検査部では、国際規格ISO15189:2012「臨床検査室—品質と能力に関する特定要求事項」の認定取得に向け、2014年11月から準備を重ねてきました。約1年の準備期間を経て、2015年10月の3日間にわたり日本適合性認定協会(JAB)の審査を受審し、12月17日に認定を取得しました。

この認定取得は、好生館検査部の臨床検査が世界的に通用することを証明するものです。臨床検査は診断・治療・経過観察などにおいてとても重要なものです。佐賀県初となるこの認定取得により、今まで以上に正確な臨床検査を行い、みなさまのお役に立ちたいと考えております。



審査風景



## 第24回 好生館医学会総会

がん統括診療 部長  
佐藤 清治

「地域包括ケアシステム」を年間テーマとして12月12日(土)に第24回好生館医学会総会が開催され、診療の質の高さを感じさせてくれた15題の一般演題に加え、海外研修報告4題が研修・発表内容とともに観光や失敗談を交えて楽しく紹介されました。

また、好生館エントランスホールに流れる音楽を製作された井出「音」研究所の井出祐昭氏からは、音が持つ力とその効果を熱く講演頂きました。

シンポジウムでは有益な討論が交わされ盛会となり、「地域包括ケア病棟」をテーマにご発表頂いた県内4病院の先生方には深く感謝申し上げます。



## 平成27年度 県民公開講座報告

地域医療連携室 副室長  
徳永 尚子



平成27年11月7日(土)に好生館にて県民公開講座を開催しました。本年度のテーマは「こんなにおいしい!? 糖尿病食」として、糖尿病代謝内科、腎臓内科の医師、管理栄養士による講演、参加型企画ではHbA1c測定、糖尿病食の試食等を行いました。202名の方に参加していただきました。講演では健康維持のためにはどのような点に留意して生活すれば良いかを学び、試食コーナーでは糖尿病食、腎食を実際に試食して、味などを体験していただきました。アンケートでは、「講演が本当になりにました」「体験型を取り入れていただき大変良かったです」等の感想をいただき、今後も貴重なご意見によく耳を傾け県民の皆様の健康増進に貢献していきたいと思っております。



## 平成27年度 佐賀県原子力 防災訓練

救命救急センター  
センター長 平原 健司

11月28日(土)に、佐賀県原子力防災訓練が行われ、当館は唐津赤十字病院とならぶ二次被ばく医療機関として、自衛隊ヘリコプターで搬送された1名の放射線汚染患者(開放骨折)を受け入れ、除染処置後に、WBC(ホールボディカウンター)による内部被ばくの有無をチェックするという設定で訓練を行いました。病院以外でも住民・直近医療機関の入院患者の避難訓練、車両のゲート型放射線モニターの試用も行われています。このように福島原発事故後、より現実味を帯びた訓練が行われるようになってきました。今回、館内対策本部を処置室(研修室1)の直近に設定するなど工夫もしましたが、まだまだ現実の対応には程遠い部分が多々あります。「実際に起こったらどうするのか。」と、訓練のための訓練に留まらないよう、今後、病院を挙げて検討していきたいと考えます。



## サッカーU-22の 選手・監督が好生館へ

総務課 課長  
溝上 信彦



ブラジルのリオデジャネイロで開催されるオリンピックへの出場を目指す22歳以下の日本代表候補が10月28日午後、手倉森監督とスタッフ、選手15名で好生館を訪問されました。最初に理事長ら好生館職員と懇談し、次に選手は2班に分かれ小児病棟と緩和ケアを訪問し、選手達は患者さんへ励ましの言葉をかけたり、握手をして交流されていました。選手達は、「頑張ってる」ということばを患者さんから掛けていただき、逆に力をもらっていたようでした。その後もユニフォームにサインをお願いしたり、お気に入り選手の記念撮影をし、楽しい時間を過ごされていました。



呼吸器外科

## 患者さんにやさしく 質の高い医療を 提供します

呼吸器外科  
部長

寺崎 泰宏



現在3人体制で診療を行っています。当科で扱う主な疾患は原発性肺癌、転移性肺腫瘍、気胸、膿胸、縦隔腫瘍、胸部外傷、中枢気道狭窄などです。

当館はがん診療連携拠点病院に指定されていることから原発性肺癌をはじめとした悪性腫瘍の診療に特に力を入れています。その中の取り組みとして末梢の小型結節影に対する血管ハイブリッド手術用 X 線撮影装置を用いた術中マーキング法、完全鏡視下アプローチによる肺癌手術、硬性気管支鏡を使用した呼吸器インターベンション治療、九州肺癌研究機構・瀬戸内肺癌研究会のメンバーとしての臨床研究への参加や地域連携パスの導入等です。

これらを通じて患者さんにやさしく質の高い医療を提供していきたいと思えます。

精神科

## 「こころ」に寄り添い、 「からだ」を支える

精神科  
部長

石丸 正吾



当科は総合病院の精神科として、「からだ」の病気に関連して生じた「こころ」のつらさ、例えば「からだ」の病気の再発への心配から来る、強い不安や気分の落ち込み、持続する睡眠障害や食欲不振など、に対する診療を中心に行っております。核家族化や共働きの増加、寿命の延長などもあって、「からだ」を患った患者さんが「こころ」のつらさを訴えられることは、昨今とても増えているように感じます。

私達も医療チームの一員として、外来だけではなくそれぞれの病棟においても診療に当たり、「こころ」の回復を通じて「からだ」の回復が促されるよう、ひいては「からだ」が回復した患者さんが戻って行かれる新たな暮らしの営みを、「こころ」の面より支えていきたいと考えております。

眼科

## 目の手術でお悩みの節は いつでもご相談下さい!

眼科部長

古賀 隆史



眼科医療技術の進歩がめざましい昨今ですが、好生館眼科は、佐賀県民のみならずへいつも最新最高の目の治療・手術を提供するため、時代における最新手術器械を整備設置しております。

また先進医療である多焦点眼内レンズを移植する白内障手術(今は同時に老眼も治します)をはじめ、先端直径が0.5ミリサイズと世界最小の眼球専用内視鏡カメラを用いた網膜剥離や糖尿病網膜症の硝子体手術、海外ドナー角膜を空輸便で取り寄せての角膜移植手術その他、高度先進医療を行っております。

火・木・金に、ご相談のみを承るセカンドオピニオン外来も予約制で実施しています。目の手術についてお悩みの方がおられましたら、どうぞ遠慮なくご連絡下さい。優秀な眼科医が全力で対応させていただきます。

感染制御部

## 高度・専門的な 感染症医療の提供を 目指して

感染制御部  
部長

福岡 麻美



好生館では2名の感染制御部専従スタッフを核とした感染制御チーム(ICT)を結成し、診療科横断的な感染症診療と病院感染対策の2つを柱に組織的な活動を行っています。感染症内科として幅広く感染症の総合診療から専門診療を提供すると同時に、エビデンスに基づいた感染対策を実践し、さまざまな感染症から患者さん・職員を守るよう努めています。

また当館は佐賀県唯一の「第一種感染症指定医療機関」であり、昨今話題のエボラ出血熱や中東呼吸器症候群(MERS)などの重篤性・危険性が高い感染症患者の受入れ機関として、まさに佐賀県の感染症医療の最後の砦としての役割を担っています。

今後も高度かつ専門的な感染症医療の提供を目指し、日々邁進して参ります。



## がん看護リンクナースを 配置し研修を始めました

当館は、がん診療連携拠点病院であり、がんで入院する患者さんが年間約2,500人と多数を占めます。そこで、看護部では各部署で症状緩和などのがん看護実践の核となり、部署と認定看護師や多職種とを繋いで患者さんを支援する「がん看護リンクナース」を配置しました。

今年度は、がん看護リンクナースの知識・技術の均てん化を目的に全6回コースで研修を計画しています。第1回目は、10月19日、佐藤清治がん統括部長と、日浦あつ子緩和ケア認定看護師を講師に「がん診療の概要と動向」「がん看護の概要と全人的ケア」について研修を実施しました。

佐賀県

肝がん死亡率  
全国1位

16年連続!

[平成26年度]

◆子宮がん死亡率……………全国1位

◆乳がん死亡率……………全国2位

[平成24年度]

◆前立腺がん死亡率……………全国1位

がん死亡率高位県

### がん看護リンクナース研修

日時 毎月第3月曜日

13:30~15:00

講師 医師、認定看護師等

対象 がん看護リンクナース  
18名

がん看護の充実を目指します!

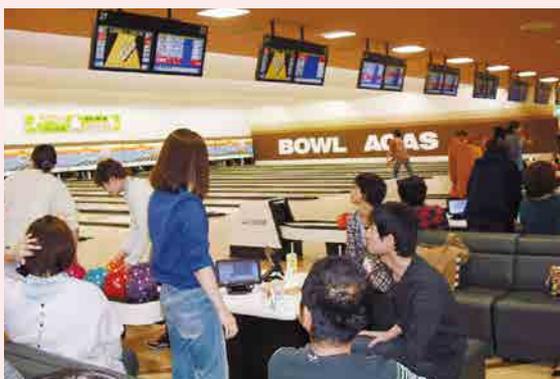
## 部署別対抗ボウリング大会

恒例の部署別対抗ボウリング大会は、守衛や医療秘書等、多職種の参加があり、総勢323名で盛大に開催されました。

11月20日(金)、場所は新装オープンしたボウラーガス。36レーンを貸し切り、中川原理事長をはじめとした4名の始球式で開始しました。ストライク・スペア・ガーターに一喜一憂する声や笑顔で会場は好生館一色となりました。

団体優勝は8階東病棟「チームキンタロー」、個人優勝は5階西・南病棟の柳さん。応援賞は、ちょっと太めのトナカイとお揃いのTシャツで場を盛り上げた8階東病棟です。

心身のリフレッシュと職員の交流の場となった催しでした。





## お薬の豆知識

### 抗がん剤はなぜ高い？

薬剤部

主任薬剤師 宮原 強



「抗がん剤はなんであんなに高いのですか？」と患者さんに聞かれることがあります。抗がん剤での治療が高くなりやすい理由の一つとして、分子標的薬の一つである「抗体薬」が多く使われていることが挙げられます。

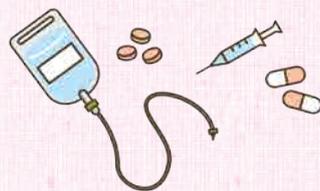
アバスチン<sup>®</sup>、ハーセプチン<sup>®</sup>、リツキサン<sup>®</sup>などが抗体薬となります。抗体薬は「がん細胞が増えるのに重要な信号」を抑えることによって、がん細胞が増えるのを抑えます。この作用の仕方は、従来と異なるため、従来の抗がん剤と併用し

て使われ、その上乗せ効果が報告されています。

では、抗体薬が「なぜ高いか？」ですが、5-FU<sup>®</sup>などの通常の医薬品はその構造が比較的単純で、化学的に大量製造できます。

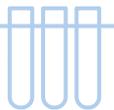
一方、抗体薬は構造が複雑であり、培養して製造しなければいけません。つまり、抗体薬は製造が複雑であるため、費用が高いということです。

具体的にどのぐらい構造が違うかといえば、5-FU<sup>®</sup>は1分子量が130であるのに対し、アバスチン<sup>®</sup>は14万と5-FU<sup>®</sup>の約1000倍も大きさが異なります。



知っていますか？

## 検査の話



### 一般検査とはどんな検査？

検査部

主任技師 松田 知子



一般検査部門で担当している検査は、尿定性検査、尿沈渣検査、便潜血検査、便中卵・虫体検査、髄液一般検査、穿刺液検査、尿素呼気試験、尿中ピロリ抗原検査などと多岐にわたっています。

中でも件数が一番多いのが尿定性検査です。約2mLの尿で、ブドウ糖、蛋白質、潜血など10項目の検査ができます。次に多い検査は尿沈渣です。10mLの尿を500Gで5分間遠心し、上澄みを取り除き、沈渣成分をよく混和してから、15 $\mu$ Lスライドガラスに載せ、カバーガラスをかぶせ、1検体ずつ顕微鏡で観察します。尿中に出てきている赤血球の形や、白血球の

有無、細胞の種類などを調べます。

尿を検査する時に「中間尿で採取してください。」とお願いしています。排尿の最初と最後の尿は採取せずに、中間の尿だけを採取してもらった尿のことを中間尿といいます。

排尿の最初の部分には外陰部や膣分泌物の混入が多いので検査には適していません。また、排尿の最後は特に女性では膣分泌液の混入が多くなるので検査には適していません。

正しい検査結果を得るためには、正しい検体採取が必要です。

ご協力をお願いします。



## 感染制御部だより

### 世界手洗いの日

感染制御部  
感染管理認定看護師 三好 恵美子



10月15日はユニセフ等が「世界手洗いの日」と制定しています。

他にも、WHO(世界保健機関)は5月5日を「手指衛生の日」と制定し、手指衛生(手洗いや手指消毒)を改善し患者安全を推進しようと呼びかけています。

感染症の多くは【手】を介して感染する事が多いため、感染予防のために手洗いは非常に重要です。

好生館では、「世界手洗いの日」に合わせ毎年10月に「クリーンハンドキャンペーン」を開催し、手指衛生の正しい理解のために手洗いの指導や手技の確認など行っています。

感染予防のために、一度自分の手洗いを確認してみませんか。



## + 医療安全管理部だより

### 好生館の医療安全管理システム紹介

医療安全管理部  
GRM 森田 洋子



好生館では、2014年10月1日から制定された医療事故調査制度に対応すべく、病院管理者(館長)が、死亡退院した患者データを毎日収集できるシステムができました。このシステムでは退院理由を「死亡」と選択した時点で、患者データが集積され医療安全管理部を

経て館長へ送られます。

医療事故、合併症、ハリーコール等は、従来通り医療安全管理システムから医療安全管理部へタイムリーに報告されます。

また、「クオリティマネジメント委員会」という医療の質の向上を目指す委員会では、全死亡退院サマリーを集積し毎月分析しています。

今回、新たなシステムが加わり、医療に起因する有害事象が迅速かつ適正に報告され、医療の質と安全のさらなる向上に寄与しています。

## 診療支援部門だより

### 放射線治療部門の紹介

放射線部  
主任放射線技師 東島 和久



放射線治療は、手術、化学療法と並び、がん治療の三本柱の1つで、がんの種類や進行状況と患者さんの全身状態、治療に関する希望に応じて選択され「治癒」を目指す治療から「症状緩和」を目的とした治療まで、幅広く対応可能な治療法です。当館は新病院移転時より、最新の放射線治療装置と周辺機器の導入を機に、高精度治療による「治療成績の向上」「副作用の低減」が可能となりました。

当館では、悪性腫瘍はもちろんですが、ケロイド等の良性腫瘍や骨髄移植前の全身照射など年間平均200症例を超える治療を施行しています。またJASTRO認定医、放射線治療専門技師、診療放射線技師、放射線治療品質管理士、専従のがん放射線療法認定看護師が在籍しており、それぞれの専門職がチームで患者さんに対応し、より安心して放射線治療を受けていただけるように心がけております。



### 寝たきり予防のために

リハビリテーションセンター  
リハビリ士長 片瀬 宏輔



日常生活の不活発や安静状態が長く続くことで、呼吸や筋肉、骨・関節、消化器などの機能が低下した状態を「廃用症候群」といいます。

この状態になると、さらに活動性が低下し、症状が進行するといった悪循環に陥ります。

発症や手術後の間もない時期から、座位、立位、歩行といった基本動作や日常生活活動を向上させ、離床を進めると、この廃用症候群を予防することができます。

リハビリテーションセンターでは、安全面に十分に気を配り、他職種と連携をとりながら「早期離床」を進め、効果的なリハビリテーションの提供に努めています。



開放型病院登録医のご紹介

医療法人  
福翔会 福岡病院

〒849-0934  
佐賀県佐賀市開成6丁目14-10  
TEL 0952-31-4611

理事長  
福岡 英信



当院は、昭和31年に前理事長が与賀町に内科の医院として開業。昭和56年、開成に移転し病院と成り今年で通算60周年を迎えました。開業以来、地域医療への貢献を目標に患者様やご家族様とのコミュニケーションを最優先し、現在、療養型の病院として努力しております。

人生のクオリティを高く元気に過ごすには健診の習慣化また予防医学が最も重要だと考え、「PET-CT」による癌検診、生活習慣病予防検診、禁煙外来、寝たきり予防のための転倒予防外来（骨粗鬆症の治療等）等に力を入れております。

今後も好生館はじめ地域医療機関との連携を密に行い患者様へ満足される医療・介護及び適正な情報提供ができるよう努力してまいります。



医療法人聖医会 藤川病院

〒840-0831  
佐賀県佐賀市松原1丁目2-6  
TEL 0952-29-0311

理事長  
藤川 謙二



当院は昭和25年より佐賀市の中心部で開設し65周年を迎えます。整形外科を中心に脳神経外科・リハビリテーション科・リウマチ科・内科の急性期から慢性期までを担う救急告示病院として、又、かかりつけ医として地域医療に貢献できるよう頑張っています。

高度先進医療の必要な患者様に対しても、佐賀県医療センター好生館との連携を密に診断及び治療を行っています。今後とも宜しく願いいたします。



医療法人聖母会 古賀内科

〒842-0056  
佐賀県神埼市千代田町境原282-2  
TEL 0952-44-2311

院長  
古賀 聖祥



聖マリア病院理事長の井手義雄君より後継者がなくクリニック（石川医院）を紹介され、平成元年から千代田町原ノ町で開業しました。

専門は消化器で、現在認知症に対しては、肥前精神医療センターとの病診連携、はがくれ呼吸ケアネットを通じてCOPD及び禁煙外来を、また生活習慣病では管理栄養士より個別栄養指導等を行ってまいり、地域に根ざした医療を目指しています。

久しく緩和ケアを行っておらず、日常的に問題ある患者さんの診療や治療をお願いしています。

今後ともよろしく願いいたします。

医療法人 まえだ脳神経外科・  
眼科クリニック

〒845-0021  
佐賀県小城市三日月町長神田2173-2  
TEL 0952-72-6101

院長  
前田 健二



当院は小城市三日月町にある脳外科と眼科の無床診療所です。私は平成16年から好生館脳外科に勤務しておりましたが、眼科医の妻とともに平成20年に開業しました（いなだ小児科のすぐ隣です）。脳外科では、開業当初はウォークインの脳卒中患者もいましたが、超急性期治療への社会的認知が進んだおかげか急性期患者は少なく、脳血管障害の一次予防、二次予防を中心とした診療を行っています。脳外科、神経内科、脳血管内科のみならず循環器科や糖尿病内科など多科の先生方、スタッフの皆様には大変お世話になっております。眼科受診者であっても、眼底に動脈硬化性変化が強ければ、若い人なら積極的に介入するよう心がけています。認知症を発症する例も多く、必要に迫られ認知症の勉強を始め、日本認知症学会専門医になりました。自立支援医療機関（精神通院）としててんかん患者のフォローも行っています。主な検査機器はCT、MRI、エコー、脳波計などです。眼科では、手術は行わず外来に特化した診療を行っています。そのためいつも古賀先生をはじめ眼科の皆様には大変お世話になっております。今後ともよろしく願い申し上げます。

医療法人  
やなぎしまこども医院

〒845-0001  
佐賀県小城市小城中町49-1  
TEL 0952-73-3666

院長  
柳島 正博



私の生まれ故郷「小城」で、小児科医院を開院して27年目になります。開院の頃通院していた子ども達も親になり、今はその子供たちを診療しています。2世代にわたり、かわいい子ども達とつき合えるのはとても楽しく、小児科ならではの幸せを感じています。

好生館の小児科と小児外科の先生方にはこれまで多数の症例でお世話になりました。今後共、よろしく願い致します。



医療法人  
橋野こどもクリニック

〒849-0922  
佐賀県佐賀市高木瀬東4丁目14-3  
TEL 0952-31-0020

院長  
橋野 かの子



日頃より、好生館の先生方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。平成15年より佐賀市高木瀬東で小児科医院を開院しております。当院は、病気の時だけでなく健康な時から小児科として関わらせていただきたいと、予防接種・乳児健診もご希望に沿えるようにと思っております。また、開院当初より病児保育を行っており、病気のときに保育園などに預けられないお子様をお預かりしています。

これからも地域のお子様たちの健やかな成長のお手伝いができるように、更に努力していきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。





## 地域医療連携センター

好生館では、平成27年9月10日(木)に第1回地域医療連携懇談会を開催しました。

その後、地域の医療機関より好生館の現状を知る機会がもて、顔の見える連携の良い機会になったという嬉しいご意見を頂きました。

またIDリンクの登録医療機関や大腿骨近位部骨折地域連携パス、脳卒中地域連携パスの連携医療

地域医療連携室

副室長 徳永 尚子



機関も増えてきております。

今後もIDリンク等を有効に活用しながら、スムーズな診療と情報共有を目指して参りますのでご協力の程よろしくお願い致します。

IDリンクへの加入のご相談は地域医療連携室でお受けしますのでご連絡ください。

**連絡先** 地域医療連携室(TEL:0952-28-1495)

## 相談支援センターだより

### セカンドオピニオン外来受診についてのご案内

セカンドオピニオンとは、「主治医の診断や治療方針に対する、他の専門医の意見」という意味で、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

好生館では、患者さん・ご家族が納得して最も適した治療の選択ができるように、がんの患者さんはもちろんですが、がん以外の患者さんでもセカンドオピニオン外来受診をお受けしております。院外から好生館への受診のみではなく、院内から院外の医療機関への受診も支援しています。

受診は完全予約制です。お申し込み後に特に担当医にご希望がない限り、各専門科の担当医師と調整後に受診日のご連絡をさせていただきます。当日は必ず患者さんご自身の受診をお願いいたします。

また、一般の「紹介患者カルテ事前準備依頼書」ではセカンドオピニオン外来は受け付けておりません

一般相談支援室

副室長

田代 加代子



のでご了承ください。

セカンドオピニオン外来受診の料金は自費診療となり、好生館受診時には、10,800円/60分(30分超過毎に5,400円追加)です。外部医療機関の受診では医療機関毎に料金が異なります。

なお、最初から転医・転院を希望される場合は、従来の紹介受診の手続きをしていただきます。転医・転院目的での受診ではないことを十分にご説明ください。

#### 担当

- 相談支援センター/田代(TEL:0952-28-1158)
- がん相談支援センター/大石(TEL:0952-28-1210)までご連絡ください。

### 平成27年度 がん県民公開講座・がん講演会についてのお知らせ

がん相談支援センターより、「がん県民公開講座・がん講演会」についてのお知らせです。

◆平成28年2月20日(土) 13:30~16:00

#### 「がん県民公開講座」

「こころのかよいあう医療を」~がんと向き合う予防と看護~をテーマに、好生館2階 多目的ホール・1階 エントランスホールにて、開催いたします。

第1部では、「がんとともに自分らしく生きる」と題して、好生館がんの認定看護師・検診マンモグラフィ

がん相談支援センター(支援室)

副室長 田代 加代子

撮影認定診療放射線技師による一般講演を、第2部では、『忘れないで検診!「がん予防!!!」』と題して、木原慶吾さんによる特別講演を予定しております。

◆平成28年3月16日(水) 18:30~

#### 「がん診療連携推進講演会(がん講演会)」

好生館2階 多目的ホールにて、開催いたします。大分大学医学部 腫瘍・血液内科学講座教授 白尾国昭先生をおよびして、講演をしていただく予定です。

たくさんのご参加をお待ちしております。

新任医師  
の紹介  
11～12月

11月1日付



脳神経外科

医員  
中城 博子

12月1日付



肝胆膵内科

医師  
桑代 卓也

緩和ケア科  
ボランティア紹介

アニマルセラピーの  
ご紹介



緩和ケア病棟

8階西 看護師長

日浦 あつ子

緩和ケア病棟では、毎月第3火曜日の午後、  
アニマルセラピーを行っています。

訓練を受けたセラピー犬3匹が、入院患者  
さんと一緒に癒しの一時を過ごしています。

患者さんたちは、病気と向き合う現実を一  
時忘れて、大型犬をなでたり小型犬を抱っこ  
したりしてすてきな笑顔を見せてくれます。

セラピー犬は厳しい訓練を受けて認定を  
受けた犬が登録されており、来院前にはシャ  
ンプーをして清潔な状態で患者さんと接して  
います。

犬好きの皆さん、どうぞ一度遊びに来てく  
ださい。

メイちゃんと。  
孫のよう  
に  
かわいいね。

グウマ君と。  
ベッドのままでも  
抱っこできます。

メイちゃん

ソラ君

グウマ君

こっち向いて!ワンちゃん集合!!

いつも楽しみにしています。  
ワンちゃん大好き♡ソラ君と一緒に。



## 医業免札制度

副館長 林田 潔

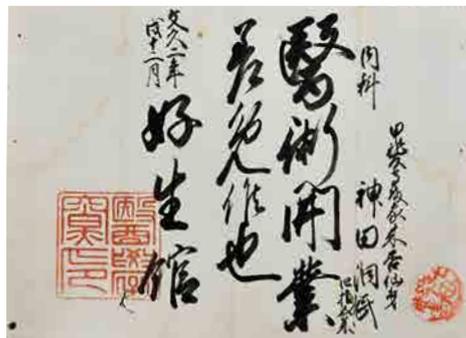


現在、医師の資格は国家資格であり、規定の教育を受け、国家試験に合格して資格を得ることが出来ます。そこには、科学、知識、正しい技量と倫理に基づく医療があります。

江戸時代、医療は国が定める資格では無く、経験に基づく技術の伝承として伝えられ発達してきました。幕末の日本で、新しい医療のあり方について、一番先進的に取り組んでいたのは佐賀藩でした。

好生館のルーツである医学館・医学寮の設立、日本初の種痘、日本で初めての医師免許にあたる医業免札制度の導入などです。医業免札姓名簿には大石良英をはじめとする、当時の佐賀藩を代表する医師の名前が並んでいます。

この制度により佐賀藩では、藩が定める教育を受けて、認定された医師のみが、医療行為を許されました。今の医師免許の先駆けです。



医術開業免状



医業免札姓名簿

医業免札(免許状)は、好生館の名前で、発行されており、当時の好生館の佐賀藩における教育機関、医療機関としての立場がうかがえます。

## UICC 世界対がんデー2016 公開シンポジウムを 佐賀で開催します

がん相談支援センター  
がん相談支援係長 大石 美穂



2月4日は「世界対がんデー」です。UICC(国際対がん連合)はメンバー制で、現在世界の120カ国より400組織が参加している団体ですが、毎年、世界中の対がん組織と連携し、キャンペーンを展開しています。

この動きに呼応し、UICC日本委員会と日本対がん協会が、「小学生のがん教育とがんと子ども」をテーマに、シンポジウムを佐賀で開催します。当館 中川原理事長が本シンポジウムの主催者です。サバイバー、医療者、教師の立場から8名の先生方よりご講演頂き、がんを知ること、予防することの重要性を学びます。

また、地域で活動しているティーンズミュージカルSAGAの協力、世界のがんの子どもが描いた絵の展示等も予定しています。早くも、がんサバイバーの皆さまから、ボランティアスタッフとして参加したいとの



声があがり、活動の中から新たながん相談支援のネットワークが生まれることも期待されます。

全国のみなさま、2016年2月6日は、是非佐賀にお出ください。次世代を担う若い世代に、がん教育として、今、何を伝え育んでいくべきか、ともに考え、できる一歩をふみだしましょう。

がん相談支援センター TEL 0952-28-1210

URL [www.koseikan.jp](http://www.koseikan.jp)

# 外来医師一覽表

(平成28年1月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内科	総合内科	新患・再来	森塚達也	森塚達也	森塚達也	森塚達也	森塚達也
	呼吸器内科	新患	岩永健太郎	小宮奈津子	加藤剛	岩永健太郎	安部友範
		再来	安部友範	加藤剛	岩永健太郎	加藤剛	岩永健太郎
	肝胆膵内科		河口康典/中下俊哉	秋山巧	中下俊哉/桑代卓也	河口康典/桑代卓也	河口康典/秋山巧
	消化器内科	新患・再来	中山敦史	緒方伸一	伊東陽一郎	緒方伸一	山本甲二
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	山本甲二(午前)	—
	血液内科	新患	久富崇	松石英城	近藤誠司	横尾眞子	横尾眞子
		再来	松石英城	権藤久司/久富崇	松石英城	近藤誠司/久富崇	権藤久司
	腎臓内科		力武修一	中村恵	—	力武修一	中村恵
	糖尿病代謝内科		吉村達(新患のみ)	吉村達	吉村達(新患のみ)	吉村達	—
	腫瘍内科 (予約・紹介)	新患/コンサルト	嬉野紀夫	小楠真典	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫
		再来	嬉野紀夫	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫	小楠真典
感染症(予約・紹介)		福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	
膠原病・リウマチ (14:00~16:00)		(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)				多田芳史	小野伸之
透析		中村恵	力武修一	中村恵/力武修一	中村恵	力武修一	
小児科	午前 (専門外来については小児科外来にお問い合せください)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	午後 (完全予約制)	乳児健診 予防接種 アレルギー食物負荷試験	神経外来(第2・4) 予防接種	アレルギー外来 循環器外来 アレルギー外来 予防接種	1ヵ月健診 アレルギー食物負荷試験	アレルギー外来 心身症外来 内分泌外来(第2・4)	
循環器科	午前	江島健一 梅本真太郎	吉田敬規 中村郁子	吉田敬規 尾崎功治	古閑靖章 中城総一	林田潔 江島健一/仲野泰啓	
	午前 不整脈外来 ペースメーカー外来(予約制)	山口尊則	—	—	—	山口尊則(第3金曜日休診)	
	午後	検査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検査	
精神科	午前(完全予約制) 再診 月~金 8:30~12:00 初診 月~金 12:00~13:00	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 非常勤医師	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修	
	午後	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)					
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	
	放射線治療	渡辺哲雄	渡辺哲雄 (午後:徳丸直郎)	渡辺哲雄	渡辺哲雄	渡辺哲雄	
脳神経科	午前	新患/再来	高島洋	森法道	森法道	高島洋	
	午後 (14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置	回診	検査	回診	検査・処置	
脳血管内科	午前	上床武史	杉森宏	石東光司	上床武史/石東光司	杉森宏	
緩和ケア科	午前(再診)	完全予約制	—	—	—	—	
	午後(新患)	完全予約制	—	—	—	—	
禁煙外来	午後	完全予約制	岩永健太郎 (14:30~16:30)	林田潔 (13:30~15:30)	寺崎泰宏 (14:30~16:30)	—	
外科	消化器外科	新患	田中聡也	隅健次	池田貯(久保洋)	姉川剛	
		再来	佐藤清治	姉川剛	池田貯	田中聡也	
	肝胆膵外科	新患	三好篤	北原賢二	三好篤	古賀浩木 (午前のみ)	北原賢二
		再来	—	—	—	—	
	乳腺外科		—	手術	白羽根健吾/藤野稔	手術	白羽根健吾/藤野稔
	呼吸器外科	新患	手術	寺崎泰宏	手術	岡本祐介	手術
再来		—	岡本祐介/大庭大治	—	寺崎泰宏/大庭大治	—	
小児外科	新患	村守克己	手術	上杉達	村守克己	手術	
	再来	福田篤久	—	—	福田篤久	—	
眼科	午前	手術	古賀隆史/久保瑞恵 三根正	手術	古賀隆史/久保瑞恵 三根正	古賀隆史/久保瑞恵 三根正/福永由起子	
	午後	検査	手術	検査	手術	—	
産婦人科	午前	婦人科	安永牧生/八並直子	安永牧生/栗原麻希子	手術日 (急患のみ担当者)	安永牧生/光貴子	
		産科	光貴子	室雅巳		栗原麻希子	
	午後	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	栗原麻希子 室雅巳	光貴子 室雅巳	室雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	
(14:00~16:00) 午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。							
耳鼻いんこう科	午前	手術	宮崎純二 大橋健輔	手術	宮崎純二 大橋健輔	宮崎純二 大橋健輔	
	午後	—	回診・検査	—	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午前	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田侑	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/種子島時祥	手術	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田侑	手術	
	専門外来		腎移植	腎移植	—	腎移植	
歯科口腔外科	午前	完全予約制	野口信宏	野口信宏	野口信宏	野口信宏	
	午後	完全予約制	佐野直人	佐野直人	佐野直人	佐野直人	
形成外科	午前	増本和之	手術	回診	手術	原田慶美	
皮膚科	午後	外来手術	—	フットケア外来	—	外来手術	
整形外科	午前(紹介のみ)	古場慎一 外来手術(午後)	手術	古場慎一 外来手術(午後)	古場慎一 外来手術(午後)	手術	
	午後	整形外科	前隆男/塚本伸章 松下優	手術	前隆男/佛坂俊輔 小宮紀宏	佛坂俊輔	塚本伸章/小宮紀宏 当番医
脊椎外科		加藤剛・牛島貴宏	—	加藤剛・牛島貴宏	—	加藤剛	
脳神経外科	午前	松本健一	井上浩平	坂田修治	手術	溝上泰一郎	
	午後 専門外来	予約のみ (水頭症外来)坂田修治 (脳腫瘍外来)井上浩平	—	(脳動脈瘤外来)松本健一		手術	(脳血管内治療外来)溝上泰一郎
心臓血管外科	午前	手術	内藤光三 里学	手術 午前中のみ 紹介・予約 樗木等	内藤光三 里学	手術	
	午後	—	回診		回診	—	
人間ドック	一般	林田潔	井之口香映子	権藤久司	権藤久司	井之口香映子	
	脳ドック	高島洋	坂田修治	杉森宏	上床武史	高島洋	
	心臓ドック	—	—	—	樗木等/林田潔	—	
看護専門外来	完全予約制	江口忍	江口忍	江口忍	江口忍	江口忍	